

科目名	財務会計ソフト演習										
科目名(英)											
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		小林 憲一		
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	経理科2年										
授業概要	与えられた証憑をもとに、弥生会計に入力し、貸借対照表、損益計算書が作成できるようになる。 コンピュータ会計の基本的な仕組みを理解し、全経コンピュータ会計能力検定2級取得を目指す。										
	iCDタスクコード										
授業形態	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○					証憑から仕訳を作成できる					
		○	○			仕訳をコンピュータ(弥生会計)に入力できる					
	○					入力データをもとに貸借対照表や損益計算書を作成できる					
テキスト・教材 参考図書	コンピュータ会計能力検定試験2級 最新過去問題集										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1-2	コンピュータ会計システムの理解/各入力データの活用					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	3-4	証憑を読み取り仕訳をする					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	5-6	証憑を読み取り仕訳を会計ソフトに入力する					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	7-8	入力済仕訳・会計データを活用する					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	9-10	実績資金繰り表の作成					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	11-12	コンピュータ会計2級 過去問題演習・解説					過去問題を実施するので復習しておくこと				
	13-14	コンピュータ会計2級 過去問題演習・解説					過去問題を実施するので復習しておくこと				
	15-16	コンピュータ会計2級 過去問題演習・解説					過去問題を実施するので復習しておくこと				
	17-18	コンピュータ会計2級 過去問題演習・解説					過去問題を実施するので復習しておくこと				
	19-20	コンピュータ会計2級 過去問題演習・解説					過去問題を実施するので復習しておくこと				
	21-22	コンピュータ会計2級 過去問題演習・解説					過去問題を実施するので復習しておくこと				
	23-24	コンピュータ会計2級 過去問題演習・解説					過去問題を実施するので復習しておくこと				
	25-26	コンピュータ会計2級 過去問題演習・解説					過去問題を実施するので復習しておくこと				
	27-28	コンピュータ会計2級 過去問題演習・解説					過去問題を実施するので復習しておくこと				
	29-30	コンピュータ会計2級 過去問題演習・解説					過去問題を実施するので復習しておくこと				
評価方法	(1)評価テストを実施する。(2)授業の中で課題を作成し提出を行う。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他 評価割合	
	評価テスト	◎		◎		◎				60%	
	確認テスト	○		○		○				20%	
	授業態度・意欲							○		20%	
履修上の注意											

科目名	GCB II						
科目名(英)	Global Citizen Basic II						
単位数	1単位		時間数	16時間		担当者	新田 覚
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	経理科2年						
授業概要	「志の教育」を通して、以下の3つの力を持つグローバルシティズンを目指す ・歴史の理解とグローバル化を見据えた広い視野・知識と深い洞察力 ・未来からの反射を踏まえた自分像に向けて自己を革新する成長力 ・与えられた環境で可能性を見出し、貢献する行動力 iCDタスクコード						
授業形態	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				考えることの大切さを理解することができる。	
		○				自分の言葉で伝える大切さを理解することができる。	
		○				目標の大切さ、志の大切さを理解することができる。	
		○				行動する大切さを理解することができる。	
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシックⅡ(麻生塾)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	グローバルシティズンと志				振り返りレポート	
	2	なぜ志を立てることが大切なのか				振り返りレポート	
	3	自己を知る				振り返りレポート	
	4	伝える力を学ぶ(1)				振り返りレポート	
	5	伝える力を学ぶ(2)				振り返りレポート	
	6	与えられた一度の人生に感謝し、志高く生きる				振り返りレポート	
	7	自己の大切さと責任を自覚する				振り返りレポート	
	8	GCBⅡを受講して、私が感じたこと・気づいたこと・学んだこと				振り返りレポート	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)レポートを数回実施する (2)授業態度を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準はR(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート		○				60%
	授業態度				◎		40%
履修上の注意							

科目名	ビジネスマナー						
科目名(英)							
単位数	3単位		時間数	50時間		担当者	姫嶋 幸子
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	経理科2年						
授業概要	ビジネス文書の作成の仕方がわかる ビジネス文書検定3級の合格を目指す						
	iCDタスクコード		SP02.12.4				
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○		○		誰もが読めるように、決められた文字を正しく、丁寧に書くことができる	
	○	○				ビジネス文書に使う漢字や独特の言い回しを覚え、適材適所に置くことができる	
		○				社内文書と社外文書の違いを説明する事ができる	
	○	○				正しい表題を選び、よじれない文章を書くことができる	
		○				箇条書きを使って文章をわかりやすく書くことができる	
テキスト・教材 参考図書	ビジネス文書検定実問題集 他プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1-2	ビジネス文書とは					毎授業、確認テストを行うので、 指定の範囲を復習すること
	3-4	表記技能/使われている漢字と使わない漢字					
	5-6	表記技能/誰もが読める、見やすい字を書く					
	7-8	表記技能/句読点の打ち方・改行の仕方					
	9-10	社内文書/慣用の手紙用語					
	11-12	社内文書/横書き通信文の構成とレイアウト					
	13-14	社外文書/レイアウトと表題の付け方					
	15-16	社外文書/前文・主文・末文					
	17-18	社内文書、社外文書の違いのまとめ					
	19-20	過去問題					間違えた問題のやり直しをファイルで提出すること
	21-22	過去問題					
	23-24	表現技能の復習					
	25	ビジネス文書を使ったコミュニケーション・まとめ					
評価方法	(1)理解度テストの平均点 (2)授業の中で小テストを適宜実施する。(3)宿題のファイル提出あり。 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	理解度テスト	○	◎				60%
	小テスト	○	◎				20%
	宿題ファイル		○		◎		20%
履修上の注意							

科目名	教養Ⅱ										
科目名(英)											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		中村 里佳		
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	経理科2年										
授業概要	就職試験に臨むためのSPI(非言語・言語)の内容を学ぶ。論理的思考を養う数学を主教科、読解力を強化する為の国語を副教科とする。										
	iCDタスクコード										
授業形態	講義：○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○					非言語能力問題(損益・仕事・鶴亀・速度等)ができる					
	○					言語能力問題(二語関係・文法・語句・長文理解)ができる					
テキスト・教材 参考図書	SPIクリア問題集(成美堂出版)										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	損益算(原価、利益、定価の算出)、二語関係									
	2	損益算(原価、利益、定価の算出)、二語関係					損益算の復習をしておく				
	3	仕事算(単位量の捉え方)、二語関係									
	4	仕事算(単位量の捉え方)、文法					仕事算の復習をしておく				
	5	鶴亀算(連立方程式への導入)、文法									
	6	鶴亀算(連立方程式への導入)、語句の意味					鶴亀算の復習をしておく				
	7	速さ・時間・距離(公式の使い方)、語句の意味									
	8	速さ・時間・距離(公式の使い方)、短文の穴埋め					速さ・時間・距離問題の復習をしておく				
	9	場合の数(条件分けの理解)、短文の穴埋め									
	10	確率、文章整序									
	11	グラフの領域(式とグラフの識別)、文章整序									
	12	グラフの領域(式とグラフの識別)、空欄補充					グラフの問題を復習しておく				
	13	図表の読み取り、空欄補充									
	14	新傾向問題(思考力を養う実践的計算)									
	15	新傾向問題(思考力を養う長文読解)									
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	定期試験		◎					60%			
	確認テスト		○					40%			
履修上の注意											

科目名	高度財務会計Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	8単位		時間数	132時間		担当者	小林 憲一
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	経理科2年						
授業概要	この講義は、日商簿記検定2級レベルが理解できている学生を対象としています。全経上級・日商1級等の高度の資格試験に合格することが目標。企業の経営活動を記録・計算し、その結果を財務諸表によって報告する知識を習得する。講義では、過去試験問題の演習を行う。						
	iCDタスクコード		SP02.5.1 SP02.5.2 SP02.5.3 SP02.5.4 SP02.5.5				
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					会計専門用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				取引情報の処理・作成に関する一連の流れを理解し、説明ができる。	
		○				日商簿記1級の全般(企業結合会計が中心)の問題が解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	日商簿記ズバリ！1級の中完全予想模試、全経簿記 上級 過去問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-5	直前対策模擬試験・復習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	6-10	直前対策模擬試験・復習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	11-15	直前対策模擬試験・復習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	16-20	直前対策模擬試験・復習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	21-25	直前対策模擬試験・復習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	26-30	直前対策模擬試験・復習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	31-35	直前対策模擬試験・復習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	36-40	直前対策模擬試験・復習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	41-45	直前対策模擬試験・復習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	46-50	直前対策模擬試験・復習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	51-55	直前対策模擬試験・復習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	56-60	直前対策模擬試験・復習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	61-66	直前対策模擬試験・復習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	評価方法	(1)評価テストを実施する。(2)授業の中で課題を作成し提出を行う。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期テスト		◎	◎				60%
宿題・レポート		○	◎		◎		20%
授業態度・意欲					◎		20%
履修上の注意							

科目名	高度管理会計Ⅱ											
科目名(英)												
単位数	8単位		時間数		132時間		担当者		小林 憲一			
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	経理科2年											
授業概要	この講義は、日商簿記検定2級レベルが理解できている学生を対象としています。全経上級・日商1級等の高度の資格試験に合格する実力を身につけさせる授業を行う。主に製造業の経営活動を記録・計算し、その結果を財務諸表によって報告・分析する知識を習得する。講義では、すべての学生が簿記を修得できるように、できるだけわかりやすく講義するとともに、数多くの問題演習を行ってもらう。											
	iCDタスクコード											
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○					原価計算・財務分析用語について学び、意味を説明することができる。						
		○				予算管理の一連の流れを理解し、説明ができる。						
		○				全経簿記上級の全般の内容を理解し、過去問題(工業簿記・原価計算)が解答できる。						
テキスト・教材 参考図書	日商簿記ズバリ！1級の中完全予想模試、全経簿記 上級 過去問題集											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1-5	直前対策模擬試験・復習					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	6-10	直前対策模擬試験・復習					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	11-15	直前対策模擬試験・復習					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	16-20	直前対策模擬試験・復習					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	21-25	直前対策模擬試験・復習					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	26-30	直前対策模擬試験・復習					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	31-35	直前対策模擬試験・復習					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	36-40	直前対策模擬試験・復習					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	41-45	直前対策模擬試験・復習					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	46-50	直前対策模擬試験・復習					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	51-55	直前対策模擬試験・復習					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	56-60	直前対策模擬試験・復習					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	61-66	直前対策模擬試験・復習					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
評価方法	(1)評価テストを実施する。(2)授業の中で課題を作成し提出を行う。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期テスト	◎		◎								60%
	宿題・レポート	○		◎				◎				20%
	授業態度・意欲							◎				20%
履修上の注意												

科目名	建設業経理士対策						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	18時間	担当者	小林 憲一	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	経理科2年						
授業概要	建設業経理士2級合格を目標とする。 土木建築工事を行う企業における会計処理、記帳、財務諸表の作成などの建設業の一連の手続きを学習する。 建設業で日常発生する(行われる)取引について、記録・計算・整理する方法とその考え方を習得します。						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					建設業簿記の専門用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				取引情報の処理・作成に関する一連の流れを理解し、説明ができる。	
		○				建設業経理士2級の内容を把握し、過去問題がすべて解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	合格するための過去問題集 建設業経理士2級						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	過去問題演習/未成工事出金、工事進行基準の計算				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	2	過去問題演習/本支店内部利益、完成工事補償引当金の計算				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	3	過去問題演習/未成工事受入金の処理				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	4	過去問題演習/本店集中計算制度の処理				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5	過去問題演習/完成工事原価報告書作成				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	6	過去問題演習/部門費振替表の作成				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7	過去問題演習/工事別原価計算表の作成				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	8	過去問題演習/払出単価の計算				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	9	過去問題演習/決算整理、精算表の作成				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎				60%
	確認テスト		◎				20%
	授業態度・意欲				◎		20%
履修上の注意							

科目名	簿記論A							
科目名(英)								
単位数	12単位		時間数	180時間		担当者	小林 憲一	
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験		
対象学科・学年	経理科2年							
授業概要	簿記は企業などの事業活動を帳簿に記録して、その記録内容から経営状態を明らかにすることを目的としており、この経営状態を明らかにするために財務諸表を作成する。財務諸表を誰が見ても同様に解釈できるようにするためには、財務諸表を作る際のルールを決めておく必要があり、そのルールが「簿記」である。つまり、簿記論では財務諸表を作るためのルールと実際の計算を習得する。							
	iCDタスクコード							
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○					勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みを理解し仕訳が出来る		
		○				簿記の計算構造を理解し帳票作成が出来る		
テキスト・教材 参考図書	税理士試験問題集簿記論・財務諸表論Ⅰ 基礎導入編・Ⅱ 基礎完成編・Ⅲ応用編							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1-6	簿記一巡、現金預金、金銭債権、棚卸資産				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	7-12	有形固定資産、無形固定資産、営業費				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	13-18	金融商品、法人税等・租税公課、				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	19-24	税効果会計、消費税等の会計処理				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	25-30	リース取引、減損会計				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	31-36	退職給付会計				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	37-42	引当金、純資産会計				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	43-48	繰延資産、外貨建換算会計				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	49-54	特殊商品売買、資産除去債務				授業内容に係る実力テストを実施するので、復習しておくこと		
	55-60	収益認識、本支店会計				授業内容に係る実力テストを実施するので、復習しておくこと		
	61-66	商的工業簿記、本社工場会計				授業内容に係る実力テストを実施するので、復習しておくこと		
	67-72	建設業会計、過年度遡及会計				授業内容に係る実力テストを実施するので、復習しておくこと		
	73-78	組織再編、連結会計				授業内容に係る実力テストを実施するので、復習しておくこと		
	79-84	キャッシュ・フロー計算書、デリバティブ				授業内容に係る実力テストを実施するので、復習しておくこと		
	84-90	帳簿組織、伝票会計				授業内容に係る実力テストを実施するので、復習しておくこと		
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験		◎				60%	
	確認テスト		◎				20%	
	授業態度・意欲				◎		20%	
履修上の注意								

科目名	財務諸表論A										
科目名(英)											
単位数	12単位		時間数		180時間		担当者		小林 憲一		
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	経理科2年										
授業概要	財務諸表論では、税理士科目の簿記論と同様に税理士試験必須科目として学習する科目となります。簿記論では財務諸表の作成を中心とした学習に対して、財務諸表論では、株主や債権者など企業の利害関係者へ、財政状態及び経営成績を報告するための財務諸表(貸借対照表・損益計算書、キャッシュフロー計算書、株主資本等計算書など)の理解とその作成方法を問われる科目です。財務諸表論の授業では、税理士試験必須科目の財務諸表論の合格を目指します。										
	iCDタスクコード										
授業形態	講義：○		演習：△		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○					財務諸表論の全体構造を理解できる。					
		○				会計公準・会計原則・概念フレームワークを理解できる。					
テキスト・教材 参考図書	税理士試験問題集簿記論・財務諸表論Ⅰ 基礎導入編・Ⅱ 基礎完成編・Ⅲ応用編、 税理士試験教科書財務諸表論理論編 ネットスクール出版										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1-6	基礎編、財務諸表論の基礎知識、財務諸表論の全体構造					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	7-12	貸借対照表、損益計算書					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	13-18	会社法開示制度、注記事項等					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	19-24	四半期財務諸表、貸借対照表の概要					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	25-30	金銭債権の評価、棚卸資産					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	31-36	金融商品、デリバティブ					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	37-42	有形固定資産、リース会計、無形固定資産					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	43-48	減損会計、繰延資産					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	49-54	負債会計、退職給付会計、純資産会計					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	55-60	税効果会計、損益計算書の概要					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	61-66	商品売買と収益の認識基準、外貨建換算会計					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	67-72	建設業会計					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
	73-78	連結財務諸表					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと				
79-84	組織再編					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
84-90	キャッシュ・フロー計算書					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲		その他		評価割合	
	定期試験			◎						60%	
	確認テスト			◎						20%	
	授業態度・意欲					◎				20%	
履修上の注意											